

# 日本の学童ほいくニュース です

2006年1月 東京都学童保育連絡協議会 豊島区南大塚3-37-10  
 TEL 5951-2789 FAX 5951-2795  
 URL: http://www.gakuho-tokyo.jp E-mail: gakuho@a.toshima.ne.jp

新年明けましておめでとうございます。今年も、子どもたちの放課後を豊かにするためにがんばりましょう。1月号の特集は「親子の距離は良いかんじ」です。これをきっかけに、子どもとの付き合いをもう1度見直してみたいかがでしょうか。

## 今月号の一押し

### その1

#### 特集・親子の距離は良いかんじ なぜ親子関係がむずかしくなるのか

千葉大学 片岡洋子

「子どもの育ちは家庭や親の責任」への問いかけ  
 家事や育児の問題を家庭や親の責任、とくに母親だけであるという風潮に、片岡先生がズバット切り込んでくださいました!! 問題を全て私的なこととし、個人が努力すればどうにでもなるかのような言説が世の中にあふれていて、そのことが、公的保障を求めていく発想ではなく、お互いを責め合う関係をつくってしまうのだ…という指摘に思わず拍手。「父親だって本当は育児に参加したい」。片岡先生はそのことも、個々の男性の意識改革の問題にすり替えられ、労働時間の短縮や残業手当なしで生活できる賃金の保障など、制度保障の徹底がなされていないという本来の原因をかき消していると訴えます。そして最後に、親子関係がむずかしくなるのは、親だけがもっぱら子どもを育てるといった閉じた関係になってしまうから。今日こそ、親だけでは育てられない、みんなで助けあってという実践が不可欠なのですと結ばれました。学童保育の父母会の果たす役割の大きさをまたまた実感!!



### その2

#### 読者のひろば 強烈な一割の楽しさのためにがんばれる

筑紫野市指導員 杉本美由起

読者のひろばに届いた福岡県の指導員同士の会話に私も共感! 「そうね…でも九割きつても一割の楽しさのためにがんばれる」「強烈な一割だし」本当にその通り! 落ち込んだり追い込まれたりもあるけれど。ある日の感動がとても大きく…その積み重ねでここまできているんだなあってつくづく思います。

### 1月号の特集

#### 親子の距離は良いかんじ

##### 「なぜ親子関係がむずかしくなるのか」

千葉大学 片岡洋子

##### 「思いがけない言葉が気づかせてくれたこと」

小佐々町なかよしクラブ保護者 川下珠美

##### 「家族が互いに見守りあって」

川越市川越西学童保育保護者 遠藤弘子

##### 「何気なくつぶやいた一言だけ」

尼崎市難皮児童ホーム保護者 湊りか

##### 「六人みんな、大事だよ!」

文京区白山東育成室保護者 佐治美恵

##### 「かけがえのない存在に気づく場を」

白山市千代野ありんこ学童クラブ指導員 竹中久美子

## 今月の都連協人

特集 親子の距離は良いかんじ

6人みんな大事だよ！

文京区白山東育成室保護者 佐治美恵

ほいくニュース

について

- ① ほいく誌の感想、このニュースへの意見、いろいろお寄せください。
- ② 作り手も募集しています。

## 今月号の一押しその2

### その1

#### ◎おすすめしますこの絵本◎ 『にじいろのさかな』

みんながうらやましがするようなステキなにじいろのウロコをもった「にじうお」君。みんな「にじうお」君にあこがれているのだ。けれど、本当はさびしかった……。そう、みんなの憧れのあの子が、あの時みんなの前で号泣したのです。「本当の友達になってよ」「本当のボクを見てよ」「にじうお」君と、あの時あの子の姿が重なりました。

### その2

子どもたちのまなざし

#### 「引きぎわが大事なんや」

全大阪市立加賀屋小学校教諭 土佐いく子

「あの時、青山がひいたからけんかが終わった。引きぎわが大事や」大ゲンカをした子どもの作文を読んでの話し合いでひろき君が発言しました。土佐先生は「今、子どもたちがトラブルをおそれぶつからなくなったり、ぶつかる引きぎわがわからなくなるとことんやっちゃってとりかえしのつかない事態を招いている。自分の主張をぶつけてもめて、行きすぎもやるがどこかで引きぎわをこころえていて、自分たちでトラブルを解決していく、その力をそ育てたい。」と語っています。とても大事なことだと思います。

### その3

#### 出会い集い父母会

#### 父母会は得ることも楽しさもいっぱい

南風原町学童クラブわんぱく家 水野幸代  
「わんぱく家」で父母会のだいご味を思う存分味わっている水野さん。父母会の楽しさがガンガン伝わってきます！！父母同士のつながりの中で、子育てはゆっくりでいいんだよと学べたこと、自分の子の成長をみんなが見守り教えてくれたこと、いろいろな職種の方の話やそれぞれの子育て論の交流、一人ひとりが特技を生かし行事をつくりあげていくパワ―などなど…。こんな魅力的な大人たちに見守られ、子どもたちは人とのつながりの素晴らしさ、生きることの楽しさを伝えられているのですね。



#### 次号予告 2月号

##### 第40回全国学童保育研究集会

- ・記念講演ダイジェスト
- ・特別報告
- ・講師の先生方からのメッセージ

##### ずいそう

日比野克彦

##### 講座・若者たちの「今」を知る⑤

中西新太郎

##### 子どもたちのまなざし

土佐いく子

##### 試せばハまる家事のワザ

佐光紀子

カメラでこんにちは/父母会/仕事・職場のいま/わたしは指導員/たのしいな/クイズ/まんが/子どものひろば/読者のひろば/ほか